

平成22年度 事業活動実績表

月	事業活動内容
4月	5日(月) 常任理事会 新役員案・事業活動計画 収支予算の検討 16日(金) 理事会 新役員案・事業活動計画 収支予算案の提案 23日(金) 総会 平成22年度支部活動について *支部役員・事業活動計画・収支予算案の承認
5月	*日赤募金の推進 6日(木) 常任理事会 25日(火) 近隣ケア・グループ研修会
6月	1日(火) 常任理事会 6日(木) 常任理事会 中旬 *那加三小児童による暑中見舞いハガキの発送 (要援護者) *那加中生徒 福祉ポスター募集
7月	6日(木) 常任理事会 中旬 *那加三小児童による暑中見舞いハガキの発送 (要援護者) *那加中生徒 福祉ポスター募集
8月	*社協委員会費募集の推進 3日(火) 常任理事会 7日(土) *親子ふれあい盆踊りの夕べ・福祉の店出店 (八幡神社境内)
9月	7日(火) 常任理事会 12日(日) *第28回各務原市福祉フェスティバル開催 (市民会館) 14日(火) 理事会 前期活動報告等 15日(火) 支部だより発行(No.46号)
10月	5日(火) 常任理事会 11日(祝) *那加三小校区市民ふれあいフェスティバル ・チャリティー(体育館) 15日(金) お年寄りを囲む食事前打ち合せ (民生児童委員・近隣ケアグループ) 24日(日) お年寄りを囲む食前会(高齢者ふれあい交流事業) ・対象者:80歳以上・独居者
11月	2日(火) 常任理事会 *那加三小へお年寄りへの年賀状発送依頼(要援護者) 25日(木) *第43回各務原市社会福祉大会(市民会館) 2日(木) 常任理事会 5日(日) 歳末福祉懇談会(歳末たすけあい特別事業) ・対象者:65歳以上独居者 70歳以上夫婦のみの世帯 家庭で介護されている方
12月	8日(土) 寝たきりの方への介護者への友愛訪問(民生児童委員) 26日(水) 中学生と福祉を語る会
1月	1日(火) 常任理事会 18日(金) 平成22年度事業報告等
2月	1日(火) 常任理事会 15日(火) 支部だより発行(No.47号) 23日(火) 会計監査 25日(金) 総会 午後7時～ 場所:那加南福祉センター
3月	

*印は支部以外の団体主催または、共催事業です。

編集後記

ことしも校区の皆さんのご協力・ご参加により、諸行事を無事終えることができました。ありがとうございました。安心して暮らせるまちづくりをモットーに新年度もよろしくお願ひいたします。

平成22年度 収支決算書

(平成22年4月1日～平成23年1月31日現在)

収入の部	科目	本年度予算	収入金額	備考
1	交付金	332,000	330,000	費納入額943,500円の35%還元
2	メニュー事業助成金	605,000	529,238	
	①ボランティアハグス	324,000	353,800	助成金(前年度繰上り)100,000円
	②地域コミュニケーション会議	16,000	0	助成金(1人200円×人数)
	③福祉懇談会	20,000	19,000	助成金(1,200円×人数)近隣ケア-
	④高齢者ふれあい交流事業	105,000	100,000	助成金(1人500円×人数)
	⑤機関誌発行支部だより	140,000	56,438	助成金(1部200円×部数+100円×回数)
3	共同募金分配事業	100,000	100,000	助成金(助成率)100%
	繰越金	867,483	867,483	前年度繰越金
4	雑収入	71,000	56,512	その他収入(前年度繰上り)100,000円 月謝料100,000円(前年度繰上り)100,000円
合	計	1,975,483	1,883,233	

支出の部

科目	本年度予算	支出金額	備考
1 交付金・共通実施事業	242,000	65,177	
①事務費	45,000	8,258	事務費・コピー代
②福祉教育事業	40,000	23,940	暑中見舞い・年賀状・福祉ポスター・献品
③支部育成事業	157,000	32,979	総会・理事会・委員会
2 メニュー事業	695,000	619,958	
①ボランティアハグス	324,000	353,800	前年度繰上り・印刷費・印刷代・印刷料・印刷
②地域コミュニケーション会議	16,000	0	地域住民との福祉懇談会
③福祉懇談会	20,000	19,455	近隣ケア・グループとの懇談会
④高齢者ふれあい交流事業	210,000	190,265	弁当・食材費・お土産・余興費
⑤機関誌発行支部だより	125,000	56,438	第46-47号(2,500部×21.5円)印刷
3 共同募金分配事業	100,000	105,082	
①歳末福祉懇談会	65,000	58,640	歳末福祉懇談会・お土産・飲み物
②友愛訪問事業	35,000	46,442	寝たきりの方への介護者訪問
4 その他の事業	25,000	6,470	
①啓発事業	15,000	1,470	盆踊りの夕べ・福祉の店出店経費
②県虎つくり事業	10,000	5,000	費・印刷費・追悼法要(印刷)・シニアクラブ
支出計	1,062,000	796,687	予備費52,739円・現金16,184円、 定期預金1,037,382円、 貸付金160,276円、 子債費160,276円、 子債費160,276円、 緊急対策費160,276円
予備費	913,483	1,086,546	
合計	1,975,483	1,883,233	

おしらせ

平成22年11月末、民生・児童委員全員の任期満了に伴い、下記の4名の方が退任されました。那加三支部の事業にも多大なご活躍をいただき、ありがとうございました。その他の方は再任され、引き続き地域の福祉にご尽力下さいます。

新任委員さんのお名前と担当の自治会をご紹介します。高齢者の問題、障害者・児童の問題など生活上の困りごと、心配ごとは、先ず地元の民生委員・児童委員にご相談下さい。

退任者	新任委員	担当自治会名	電話
関谷 教子	浅野 和子	西野町1	382-3781
岩井 一孝	加藤 幸雄	西野町2	383-0358
岩田 富恵	二宮 芳子	南栄町・栄町	383-4152
加藤 征男	岩本 正雄	日吉町	383-2099

社協
那加三支部だより

平成23年3月15日 No.47
編集・発行 各務原市 社会福祉協議会 那加三支部

那加第三小学校

年賀状で交流 / 高齢者と小学生



今年も校区のひとり暮らしの方
に年賀状を心をこめて書きました。

那加中学校

「ポスター」の応募ありがとうございました。

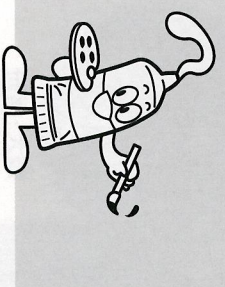
那加中の皆さんが福祉ポスターを描いて下さいました。
この素晴らしい作品...紹介します。
高齢者を囲む食前会の会場で掲示し、皆さんに見て
いただきました。10月の食前会に表彰式を行いました。



最優秀賞 早川 真由さん

優秀賞 千葉 李奈さん

つながる心 優良賞 熊崎 朝香さん



優良賞 熊崎 朝香さん

「中学生と福祉を語る会」 23年1/26(水)

「福祉って何だろう、社会科の学習内容と関って具体的には?身近な福祉を知る機会にと那加三支部より5名が訪問し、各クラス別に身近な活動等を伝えました。内容は①福祉とは ②社協那加三支部は何をしているの ③中学生として今できること

3年生の皆さん、真剣に聞いて下さいました。後日、学んだこと等々感想文を寄せていただきました。全部掲載したいのですが、一部紹介させていただきます。

①学んだこと
・高齢者や障害者なども含めて、地域の人々みんなが幸せに暮らせる環境をつくるのが福祉であると考えます。
・他人に心から思いやりをもつて行動をすること。
・一人一人が幸せに生活できるということ。
・人と人とかええ合って生きていくこと。社協の方の活動のように人を思いやり、それを行動でしめすことではないかと思う。人は一人で生きていけない、だから「福祉」が必要だと思ふ。
・人々とのつながりを深めること。(人を助けたり、教えてもらったり、地域のかかわりを深める)
・安心・安全に楽しく暮らせるように協力し合ってよりよい町作りをしていくこと。お年寄りだけでなく大人も子供も全員が、笑顔あふれる生活にしていけること。
・お互いにお互いを助け合い、相手のために動くこと。

②今、中学生に出来ることは
・地域で会った人に明るく挨拶をする。
・地域行事やボランティアに積極的に参加する。
・緊急時にお年寄りや障害者を助ける。
・できる限り、お年寄りやふれあう場を作り、交流することが大切。
・那加三支部などの行事に協力の活動として参加したり、手伝うこと。
・日頃から困っている人を見かけたら助けてあげることが出来る。
・自分達で出来ることを進んで取り組む。
・行事に積極的に参加して、みんなと交流し、話したり活動したりして地域の一体感を作っていく。
・地域での挨拶、ボランティアに参加したり、小さな事でも実行していくことが大切。
・自分の住む町を見つめ、地域での会やボランティアとなる活動に自ら参加すること。いろんな世代の人々と関わり、コミュニケーションをとっていくこと。その中で気付いたことがあれば手助けをする、協力をしていく。

③お礼のことば
※福祉とは、地域の人々がみんな幸せに安心・安全に暮らせるまちづくり、そして自分達に出来ることは、やさしい心で、ふれ合い、地域の中の行事に積極的に参加したいと、多くの方が感想を下され、感動し、読み取らせていただきました。
こんな素晴らしい時間を与えて下さりました校長先生はじめ諸先生方、生徒の皆さんに心より感謝いたします。ありがとうございました。



第11回 那加三市民ふれあいフェスティバル(10/11日)

午前 校区の市民運動会

雨のため一日順延にて開催。
待ち切れない校区の人、あふれんばかり。

午後 ふれあいフェスティバル

那加三支部はチャリティーバザー担当

校区の皆さんから寄付いただいたバザー用品が、会場一杯に並びました。ありがとうございます。

チャリティーバザー売上金	137,640円
30,000円…	那加三支部 災害救援資金積立
20,000円…	那加三支部 地域福祉事業資金
20,000円…	青少年育成市民会議
20,000円…	那加中学校教育活動へ寄付
20,000円…	那加第三小学校活動へ寄付
26,196円…	自治会連合会
1,444円…	消耗品



開場 12時30分
大勢の方が並んで下さいました

いいもの、張り出しもの
あるかな...



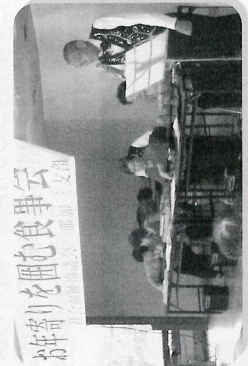
80歳以上の高齢者の方 を囲む食事会(10/24日)

- ・那加中の生徒さんが応募して下さった福祉ポスターの表彰式から始まりました。喜多川支部長より賞状と賞品を贈られ、会場の皆さんから大きな拍手で祝福されました。
- ・校区の皆さんが一同に集まったの食事会、自治会長さん、町内会の皆さんの席に入ってください、よりお話がはずみ、ふれあいを深めました。
- ・食事のあとは、大正琴・指の体操、そしてことしも岐阜大学の落語クラブの皆さんによる落語二題を楽しんでいただきました。
- ・早朝より会場準備、食事の準備、接待等担当の皆さんお疲れさまでした。



表彰された皆さん

出席者	179名
招待者 107名
内	余興ボランティアさん・来賓 11名
	近隣ケアG・支部社協役員 61名



表彰式を囲む食事会



大正琴の演奏 (アンダンテ)



お年寄りを囲む食事会



岐大・落研
女性登場

歳末福祉懇談会(12/5日)

- 喜多川支部長の挨拶に続いて
- ① 介護保険制度について 宮田市高齢福祉課介護給付係長 (資料・平成22年度版 みんなないき介護保険)
 - ② 高齢者を支援する福祉サービスについて 小林包括支援センター介護予防係長 (資料・市高齢福祉課版 2010/4/1 高齢者福祉の手引き)

以上講話を聞いたあと三つの分科会に分かれて、日常生活に分かれて、日常生活に於ける情報交換及び要望事項について熱心に話し合われました。

70歳以上 夫婦のみの世帯

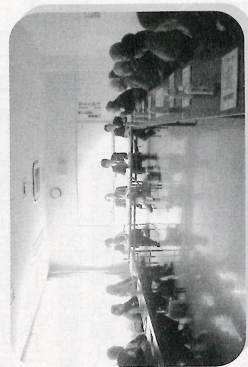
〔助言者
(市・高齢者福祉課 宮田係長)〕

- Q. 市の高齢者福祉課と包括支援センターとのすみ分けがわからない。どこに相談に行ったらいいか?
- A. 包括支援センターは市内に7ヶ所あり、それぞれ小地域での対応をきめこまかくしており、身近な相談事に対応し、そこから市の関係機関や医療機関につなぎます。民生委員さんに相談して頂いても結構です。上記のパイプ役をつとめます。
- Q. 生活保護のおたずね、申込はどこに?
- A. 地元の民生委員がうかがい、市の社会福祉課に同行します。
- Q. 身体欠症の医療の補助。例えば難聴の場合は?
- A. 市の社会福祉課におたずね下さい。障害者手帳の交付が受けられ補聴器の補助があります。
- Q. 医者通いの日課で子供も遠隔地に居る。体が弱ってくと介護の事を真剣に思う
- A. 家族と地域の内で、まず出来る事を先決し将来的には資産処分も含め行政機関を通して介護施設を利用。
- Q. 老人介護の中で緊急時の連絡先の把握はどうなっているか。私は、緊急医療情報(病歴・服薬名・医療機関連絡先・2親等、等)を作り、例えば、救急員にもすぐ分かるようになっている。病歴も変ったら子供達にも送っている
- A. 大変いい事だと思えます。市の高齢福祉課でも申請をしている方の緊急連絡先はつかめず。又、緊急医療情報の用紙は、市社協でも用意出来ます。

65歳以上ひとり暮らしのグループ

〔助言者
(市社協総務課 田中主任)〕

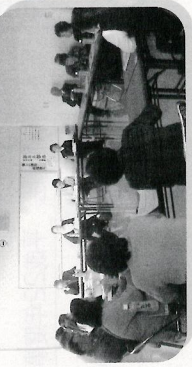
- ◎ひとり暮らしで何か心配かといえれば病気になる時、どうしたらよいかと考えると憂鬱れなくなると思います。これは誰もが共通の気持ちだと思います。
- ◎病気で通院している方の話
私は持病があるので不安な気持ちです。主治医の先生が自分の携帯番号を教えてくださいました。急に病状が悪くなった時、すぐ電話をかけた対応してもらい大事に至らなかつた経験をしました。なかなか携帯番号を覚えてもらえないと思つて、緊急事態に備え、特異体質、治療中の病名、体の不自由な状況を張り付けておくことが必要ではないでしょうか。



家庭で介護をしている方のグループ

〔助言者
(包括支援センター 小林係長)〕

- Q. 目が見えなくなつたある高齢者(糖尿のため)の介護者
現在週二回のデイサービスを利用しているが、余り喜んで行っている様子ではない。介護者も高齢となり、自身も何が起きるかとも知れない、それを思うと不安で仕方がない。緊急時の対応はどうしたらいいのかわからない。
- A. ケアマネさんに相談して、何とかショートステイの体験をしてみる。慣れてもらおうのが何より大切だが、まずは話し合い体験されて欲しい。



- Q. 91歳の介護、家で倒れた時の搬送方法は? 心配です。
- A. 急な時の搬送サービスがある。(NPO法人の有償移送サービス)
- Q. デイサービス利用者 家人の用事の都合もあり、朝少し早く迎えが出来ない。
- A. 時間の延長等、利用者の要望をケアマネさんと相談してみる。
- Q. バリアの為の改造費、一度利用したら、あと駄目か?
- A. 介護の認定が重くなければ、その分は利用可とのこと。詳しくは包括へご相談下さい。
- 提案: 1. 年一回のこつこつとした話し合いは大切。多くの方が参加できるように開催、日時の再考を(日曜日でなくウイークデイに)
2. 全部の部会の対象の方に、ご案内文書を配布する時にO×式のアンケート等を実施してみたら...

民生・児童委員による 寝たきりの方とその介護者への友愛訪問(23年1/8日)

那加三支部社協では、歳末助け合い事業の一環として、毎年1月に友愛訪問をしています。
現在校区には24名の方が寝たきりで、家族の方の介護を受けていらっしゃると思います。担当民生委員さんが、果物券、お菓子、ティッシュ、ペーパーを持って慰問していただきました。

